

日本デザイン学会 第 66 回春季研究発表大会 発表申込要領

発表資格

研究発表者（概要の筆頭者）は、日本デザイン学会の会員（賛助会員および年間購読会員を除く）に限ります。ただし、**発表時まで、大会参加費等の諸費用はもちろん、入会後の年会費のすべてを支払っておく必要があります。**共同研究者（概要の連名者）については、入会の有無を問いませんが、発表内容について、研究発表者と同等の知識を有することとします。なお、連名者の上限は 9 名です。

発表形式

本大会の発表形式は「口頭発表」と「ポスターセッション」の 2 つです（発表要領は別紙参照）。**発表者 1 名につき、それぞれ 1 件の申込が可能です。**

テーマセッションについて

「口頭発表」を希望される場合、発表枠決定の基準となる「研究分野」として、研究部会や会員有志が統括する「テーマセッション」を選択することができます。テーマセッションの内容につきましては、事前に学会ホームページのニュース欄等で告知します。

研究発表申し込み手続きについて

研究発表申し込みは、学会ホームページ掲載の専用登録サイトにおいて、連絡先や主題目などの必要事項を入力し、発表概要 PDF データ（3MB 以下、執筆・作成要領とレイアウトは別紙参照）をアップロードすることで完了します。

概要集の目次（発表主演目、発表者の氏名と所属）は、申し込み時の入力内容から作成されます。よって、入力時には出力原稿を確認するなど、細心の注意を払ってください。主な入力事項は次のとおりです。

- 1) 申込者（原則として発表者）、発表者、共同研究者の氏名、発表時の所属など（会員番号は必要無し）
- 2) 発表形式、研究内容の領域（選択形式）、発表演目（日・英）、副題目（日・英）、キーワード（英単語 3 つ）、日本語概要（500 字以内）、英文概要（80 words 前後、概要集原稿に記載したもの）、発表概要 PDF データ

申し込み時の留意点

学会側からの連絡は、基本的に「申込者のメールアドレス」宛に送信されますので、研究発表大会まで利用できるメールアドレス（携帯不可）をご準備下さい。申込後に変更があった場合は、速やかにご連絡下さい。また、学会側からのメールが、お使いのメールソフト上で迷惑メールとして処理されてしまい、結果として発表取り消しとなる場合もありますので、ご注意下さい。

発表概要 PDF データは、アップロード時にサーバ側で『受付番号.pdf』というファイル名になります。また、受付期間内に再アップロードした場合、前データは自動的に削除されます。ご承知おき下さい。

口頭発表時にマルチプロジェクター以外の機材を使用し

たい方や、連続発表をご希望の方は、申し込みと同時に下記担当までお知らせ下さい。

発表概要作成時の留意点

発表概要は「口頭発表」「ポスターセッション」とも、同一のフォーマットとなります。

発表の採否につきましては、発表概要を精査の上、決定します。別紙の執筆要領にそって、内容と体裁に不備が無いようお気をつけ下さい。

発表概要 PDF データにつきましては、機種依存フォントの有無にご注意下さい。また、必ず 2 ページ分を 1 つに結合の上、アップロードして下さい。その際、A3 サイズ 1 枚にならないよう、白紙ページが残らないようご注意下さい。

研究発表申し込み期間

平成 31 年 3 月 1 日（金）から 3 月 31 日（日）まで
ただし、サーバ保守のため専用登録サイトにアクセスできなくなる場合があります。ご承知おき下さい。

申込後の流れ

- 1) 申し込み後、受付メールが自動配信されます。
- 2) 採否メールが一斉配信されます（4 月下旬）。
- 3) 発表スケジュールを含む大会プログラム（印刷物）が配布されます（6 月上旬）。
- 4) Web 上で発表概要が公開されます（大会会期直前）。
- 5) 大会中、会場で発表概要集 USB メモリが配布されます。

グッドプレゼンテーション賞について

前回に引き続き、本学会における研究発表のレベルアップを目的として、模範的な研究発表に「グッドプレゼンテーション賞」を授与します。受賞者につきましては、本大会の閉会式で発表する予定です。奮ってご参加下さい。

連絡先

誠に勝手ながら、発表申込に関するお問い合わせにつきましては、原則として電子メールとさせていただきます。

日本デザイン学会第 66 回研究発表大会

発表申込・概要集編集担当

柿山 浩一郎

E-mail : kakiyama[at]scu.ac.jp

↑ [at]を@に変更してください。

〒005-0864

札幌市南区芸術の森 1 丁目

札幌市立大学 芸術の森キャンパス

日本デザイン学会 第 66 回研究発表大会 発表概要執筆・作成要領

日本デザイン学会の研究発表大会において、研究発表を希望される方は、以下の要項にしたがって発表概要を作成して下さい。

- 1) 発表概要は、聴講者に対して発表内容の理解を促し、有意義な質疑応答を成立させるためのものです。また、来聴できない会員に対して、発表内容をわかりやすく伝える役割も有しています。この主旨にそって、研究の目的、方法、結果、考察、注釈などの項目をたて、当該研究の全体をまとめて下さい。
- 2) 発表概要の体裁は、発表 1 件につき、A4（縦）用紙 2 ページです。別紙レイアウト見本を参考に作成し、最終的に 1 つの PDF データ（3MB 以下）にまとめて下さい。手書き厳禁です。なお、概要集は USB メモリでの配布を予定しています。
- 3) 発表概要の題目欄には、レイアウト見本を参考に、研究主題目、副題目、英文題目、氏名、ローマ字氏名、所属を、すべて左揃えで記述して下さい。それぞれの文字サイズは、レイアウト見本に準じます。
- 4) 共同研究の場合、大会時の口頭発表者を筆頭に記して下さい。なお、ローマ字氏名は、姓、名の順に記し、それぞれの第 1 字のみを大文字とします。研究者の所属が複数ある場合は、「日本 太郎¹⁾」のように氏名の右肩に上付き文字を付すとともに、「1) 日本デザイン学会」のように所属に行頭数字を付し、氏名と所属を対応させて下さい。なお、所属が単数の場合は、上記の上付き文字や行頭数字は必要ありません。
- 5) 発表概要の英文概要（アブストラクト）は、12 行（6 行×2 段組み）以内とし、80 words 前後とします。
- 6) キーワードは英語とします。最大 3 つまでとし、各キーワードはカンマで区切って下さい。
- 7) 本文には、文字数にして約 4,800 字程度（左頁 28 文字×39 行×2 段、右頁 28 文字×47 行×2 段、計 4,816 字）におさめて下さい。
- 8) 原稿に使用するフォントは、原則として、他の PC で PDF データを表示した際に、不具合の起きないものを使用して下さい。図表内も同様です。
- 9) 図表は、本文の一部としてあつかいます。ただし、右頁上部には、図表に限り、上部余白（25mm）手前まで掲載しても結構です（レイアウト見本参照）。なお、図の番号ならびに説明はその下に、表の番号ならびに説明はその上に記述して下さい。
- 10) 注釈の記述方法については、デザイン学研究の執筆規定にしたがうこととします。
- 11) その他の詳細に関しては、デザイン学研究の執筆規定にしたがうこととします。以上の要領に準拠しない原稿については、受け付けないことがありますので、十分注意して下さい。

日本デザイン学会 第 66 回研究発表大会 口頭発表要領

グッドプレゼンテーション賞について

本大会では、例年同様、「研究のレベルアップ」を目的として、模範的な研究発表に「グッドプレゼンテーション賞」を授与します。選考については、学会理事を中心とした実行委員があたり、主として概要を対象に研究内容を精査し、新たな知見やオリジナリティの有無をチェックします。もちろん、概要の体裁が要領に則しているかどうか、大会中の発表や質疑応答の様子も審査の対象となります（座長の意見を参考とします）。発表者の皆様におきましては奮ってご準備下さい。なお、閉会式で受賞者を発表する予定です。ぜひ閉会式にご参加下さるようお願いいたします。

■ 当日の発表準備について

- 発表者は自身の発表までに「発表者受付」にて受付を済ませておくこと。
- 運営の都合上、発表機材は基本的に、会場設置のプロジェクタと発表者持参の PC（外部モニタ VGA 出力端子 D-Sub15 ピン付、変換アダプタが必要な場合は各自準備のこと）に限ります。発表者は自身が発表する時間帯（コマ）の開始前までに、休憩時間等を利用し、プロジェクタ等の会場設置機材と持参の PC 等の接続チェックをおこなっておくこと。
- 自身の発表コマの開始 5 分前までに会場へ入ること。
- 発表開始 1 分前までに座長へ来場と接続チェックの報告を済ませること。問題があれば座長に申し出ること。

■ 発表形式について

- 発表時間は一研究につき発表 15 分、質疑 5 分、計 20 分とする（第一鈴：発表開始後 13 分、第二鈴：15 分、第三鈴：20 分）。原則として第二鈴で発表を中断し、質疑に入る。

■ 質疑について

- 活発な質疑とスムーズな進行が成立するよう、座長の指示に従うとともに、発表者相互に協力すること。なお、質疑開始にあたり、座長から概要や発表に関する不備を指摘される場合がある。質問や意見に対しては、短時間で的確に回答するよう心がけること。

■ 注意事項

下記事項については、すみやかに座長へ申し出ること。

連続発表について

連続発表においては、原則として発表時間と質疑時間をそれぞれまとめることができる。例えば、二件の連続発表の場合、発表時間 30 分（15 分×2）、質疑時間 10 分（5 分×2）とする。なお、連続発表であっても一人の発表時間は約 15 分とする。

発表者の欠席・遅刻・変更について

発表者が欠席または遅刻した場合は発表キャンセルとみなす。よって、該当する概要は公的な研究発表としての効力を失する。ただし、遅刻については、特別な事情を証明する文書等がある場合に限り、発表を許可する場合もあり得る。

共同研究者の発表について

発表者予定者（筆頭者）の都合により、連名者である共同研究者が発表を申し出た場合、座長はその理由を確認した上で、発表を許可することができる。なお、発表予定者および共同研究者以外の発表は認められない。